

You are the salt of the earth and the light of the world.



発行
洛星新聞局
京都市北区小松原南町
☎ (466) 0001
FAX (466) 0777
印刷/海片桐軽印刷



卒業式会場
洛星高等学校
第48期生

去る一月七日(土)、少し早目に春を迎えたような暖かさの中、本校の第四十八回卒業式が行われた。聖体降福式の後に、行われたこの卒業式では、阿南校長がマタイによる福音書からの言葉を卒業生へと贈った。その後も在校生、教職員、保護者が列席する厳粛な空気の下、卒業証書の授与、在校生総代田村和也君による送辞、卒業生総代野崎裕資君による答辞が続いた。全ての行程を経て卒業式を終えた後、第四十八期卒業生二百五十五名は、洛星での思い出を胸に、新たな旅路を歩み始めた。



私たち四十八期生は今日晴れて卒業の日を迎え、慣れ親しんだこの学び舎から巣立って行きます。卒業するにあたり、長年過ごしてきた洛星に別れを告げることは寂しさを感じますが、こうして在校生、教職員、保護者、そして多くの洛星ファミリーの皆様に見送られて、また見ぬ未来への扉を開き、新たな世界へ足を踏み入れて行くことへの喜びを深く感じています。

洛星高校での三年間は、一人一人が自らの持つ才能を遺憾なく発揮し、またそれによって自らを更なる高みへと導いていくことに惜しみない努力を注ぎ込んだ日々であったと言えます。

そのためには、目をしっかりと開けて世の中を、また自分自身を見つめることが必要です。世の流行に流されるのではなく、「自分がどういう人間なのか」「自分のやりたいことは何なのか」また「何をなすべきなのか」を見つめ、それを自覚して生きていくべきなのです。真実を見抜く目を養い、一人ひとりが進むべきそれぞれの場所へ、真理を探究する人であり続けよう。

ここで、決して忘れてはならない大切なことがあります。それは、文化や文明が発展したことによる成果を、磨いた能力を、また得た社会的地位を、何のために使うのかという事です。自分や家族の、この世での幸せのために努力する人は少なくないかもしれませんが、洛星で、キリストの教えを学んだ皆さんは、キリストが示された生き方にならねば、神からいただいた能力を、自分のためだけにではなく、周りの人、世界中の、特に困っている人、弱い立場に立たされた人、果

ます。特に文化祭、体育祭、クリスマス、マスタブローなどの学校行事においては、時には衝突を重ねながらも、みんな丸一つとなって同じ目標へと向かい、その過程の中で数多くの事を学び、手に入れることが出来ました。先輩から受け継ぎ、後輩へと伝えた技術、学年の枠を超えた仲間意識、目標を達成し、皆で分かち合った喜び。そして一人一人が力を合わせることで大きな成果をあげることができたという経験。これらの得たものは私たちの礎となり、これから待ち受ける様々な試練を乗り越えるための大きな支えになってくれることでしょう。

私たちはこれから社会へと旅立って行くことになり、今後は受け入れたいもの、度(ひとたび)世界に目を向けると、生活を根底から破壊するような災害や、テロとその報復の戦争などによって多くの命が絶たれ、生き残った人々も家族や住み慣れた場所を失い、辛い生活を強いられるかもしれません。しかし、それに対して多くの人が、遠い場所のことだから、自分には関係のないことだから、と無関心を決め、広い視野を持っていないと言えない私たちが、他者、特に弱者からの視点を得るための絶好の機会です。上り立場から見た世界と、下り立場から見た世界、この二つの共通点を感じてほしい。一つ目は、どちらも自分自身を用いるとき、その効果ははつきり現れるという点です。塩は溶けて食べ物の中に入り、形を変え、そのことによって生かされます。光は、明るいところへより、むしろ暗闇に置かれることでこそ、威力を発揮するのです。二つ目の共通点は、ほんの少量でも十分な効果があるということです。わずかな量でも、塩は味をつけます。また、どんなに小さな光でも、暗闇の中にいる人に大きな慰めと希望を与えることが出来るのです。

これからは皆さんが歩んでいく世界は、決して完成された、愛に満ちた世界とは言えません。様々な問題を抱

学校長 式 辞

阿 南 孝 也

今日ここに、カトリック京都教区、教区長、大塚司教様を始め、ご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席のもと、第48回洛星高等学校卒業式を挙げてまいります。心から感謝申し上げます。48期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学園を代表して皆さん一人ひとりにおめでとうと申し上げたいと思います。

皆さんは、洛星での学生生活を通じて、神からいただいた能力を、一人ひとりの努力、また仲間どうしが励ましあひながら、磨いてきました。いろいろなこと

に積極的に取り組み、貴重な体験を積み上げていくことで、かけがえのない財産を得ることができました。私は折に触れて、二つのことをお話してきました。一つ目は「学ぶ楽しさを知る人になっ

てほしい」として、二つ目は「一人の痛みを気づくことのできる人になっ

てほしい」として、三つ目は「一人の痛みを気づくことのできる人になっ

てほしい」として、四つ目は「一人の痛みを気づくことのできる人になっ

てほしい」として、五つ目は「一人の痛みを気づくことのできる人になっ

てほしい」として、六つ目は「一人の痛みを気づくことのできる人になっ

てほしい」として、七つ目は「一人の痛みを気づくことのできる人になっ

A 組

人生はフリースタイル!

余りに充実した思春期で
た。感謝! 阿古目健志
マッシュ、ストラト、フエ
ラー!! 網 政貴
人生は、何なんでもネタ
になる 藤田 翔
長いようで短い6年間だっ
た。 福永 卓也
モノポライザーぬるぼ
クラブ活動が一番楽しかつ
た。 日野 卓哉
生もの勉強はお早め!!
いまだに手がくさいです
石田 晋
落ち着いたら真鍋でも飼
たい 神谷 勝
陸上部をよろしくお願
います。 河瀬まなむ
お世話になった皆さんに感
謝します。 北波 超彦
世界の北野からこんにちは
北野 泰佑
両親、先生、友人みんなに
感謝したい 小島 隆秀

B 組

楽しい高校生活でした。

洛星が僕の一部になって良
かった。 荒堀 誠之
それなりに頑張ったと思
う。 荒田 龍馬
録画したぶつすまを今こ
そ見よう。 浅野 和哉
皆勤や!と思つたら違
いました。 福田 亮介
ママフウ二十枚たまった
。 橋本 善太
天命を待てるくらいに人
事を尽くせ 初田 好弘
推薦入試は体に悪い
。 日置 智惟
とても楽しい6年間でした
。 廣岡 順平
高校生活楽しかったです
。 猪瀬 昌
特になし。 井上 拓馬

C 組

充実した6年間だった。
ミッチーが二人いて紛ら
わしかった。 佐藤 充
将来海外行つて四の人間
になる。 杉浦 靖明
先生方、本当に世話にな
りました。 杉山 優一
陸部が無くなるといって欲
しい。 富岡 真
はじめの3年間意味わから
なかった。 富島 昂
遊んで遊んで遊んで遊んだ
な!と思う 壺井 保彦
バルス!見ろ、人がゴミの
様だ! 禹 慧一
モリツカレマシタ... 上田 渥史
三年間ありがとうございま
した。 山本 茂雄
予備校で会いましょう! 山本 康太
立技よりも寝技で一本
安本 浩祥

信し続ければ、奇跡は起こ
るはず。 堀 太一
短い三年間であったが充実
していた。 井川 寛章
おもしろきこともなき世を
おもしろく 池 宏
高校の三年間は実り多きも
のなり 今井 瑛介
東京へいきたかった。 今井 啓太
頑張れ 井上 喜隆
息を止めてひたすら唱え続
ける。 岩佐 悠平
がんばれ田代まさし
した 服部 泰輔
六年間ありがとうございま
した 京都にきてお笑い偏愛値が
上がった。 林 大介
幸せは歩いてこない
浪? 山本 康太
まだだ!まだ終わらんよ!
平田 裕貴

まあまあおもしろい6年間
だった。 村田 悠企
モーターゼーションな六年
間で。 村山 快仁
誰かこの世の中を変えてく
れ! 中江 仁治
最後の一年が一番長く一番
短かった。 中井 健一朗
じゃ、あと任せた。 中村 彰宏
いろいろお世話になりました
。 西田 知弘
正直スマンかった。 西出 啓祐
六年間有難うございました。
陽気発金石亦透 精神一
に何事不成 越智 雄輝
一生続けても飽きない事を
探すべし! 佐藤 信夫
夜明けの来ない夜なんて無
い。 斯波 宏行

初志貫徹・一所懸命・克己
自愛 宋 聡明
楽しい思い出がいっぱいで
きました。 竹内 康人
近道よりも、汗をかこう。
どうも、爆笑間!それ田中
裕一や二 田中 裕人
ぬかりなく足を歩めていき
たい。 谷口 健
東大でまってるよ。ハハハ
ハハハハハ 谷本 芳朗
来年は奇跡が起きる。
なんだかんだで楽しい六年
だった。 徳田 邦人
それをカバディという。
三年間で色々変わったなあ。
色々と 山岡 歩
防衛大?国民に就け向けら
れませんか 矢野 貴大

最後まで粘ったもん勝ちで
す。 吉田 瞬
謡曲部を忘れるな!
一年で校内順位百三十人抜
き達成!! 湯浅 隆磨
どんまいこ 中野 英顕

授業中の総睡眠時間なら学
年一位かも 江口 隆大
この六年で、人生変わった
な。 遠藤 皓亮
今頃俺笑ってるんだろうか
。 2月5日 久光孔世留
これからも頑張つて下さい。
栗山さん 人見 浩介
男子校の3年間行けて良かつ
たです。 石川 俊介
まだ終わってはいけない
。 JRはもうあてにしない
もう十分です。 木村 尚樹
ああ遠い、通学時間に疲れ
はて。秀逸 北山 博基
タヌキとポノボリ「は」
高等だ。 小瀧 敬
彼の地目指して、此の地を
知るか? 小玉 明広
ありがとう。 駒井 正樹
遅刻多すぎた... 久津見 平
卒業?実感ねあ。 前元 大輔
ありがとう。洛星。 最上 裕生
あつという間の三年間でし
た。 村山 雄亮
ESSが何らかの形で残り
ますように 永井 遼平
大学生になったら沢山親孝
行をする。 永石 翔太
6年間、長いようで短かつ
た。 中村 巨
6年間楽しかった。洛星あ
りがとう。 中島 大輔

最後までやりきる
。 西 正智
受験でも何でもたいてい何
とかなる。 西尾 尚己
6年間学校にひたすら毎日
行きました。 小幡 峻平
3次元より2次元の方が好
きです。 小川 晃司
学芸?とついに別れた。
岡野 弘
闇を歩む私は大いなる光を
:見るのか? 大矢 希
6年間、短かいすで長かつ
た。 佐野 淳一
やっぱり三年つてみじかい
ですね。 笹川 和彦
はやく楽しい生活を送りた
い。 仙石 晃大
敗因は渡米です。 城下 隆一
洛星でよかった! 田辺 伸信
学問に王道なし 田中 佑輔
何でもない様な事が幸せだつ
たと思う。 富永 祐多
俺、今メツチャ温泉行きた
い。 辻 徹
何事も経験豊富な男になり
ます。 塚本 雄大
今思つとあつという間やつ
た気がする。 植田 賢幸
若い力着るは若い力着るに
なってる。 上原 昂
6年間楽しかった。 梅崎 直也
悔いのないように... 渡部 祥平
良き先輩後輩友人に恵まれ
楽しかった。 渡辺 俊也
ありがとうございまして。 山本 龍
あなたが気付くのが遅すぎ
たのよ!! 山本 幸広

四十八期生の一言

6年間、この学校に通って
よかった。 中森 正也
返事が無い。ただの屍のよ
うだ... 中村 悠佑
二十枚使えよ 中山 真孝
む、おはよう。蜜柑食つた
。おやすみ 成瀬 哲史
高音のパートリーダーは僕
です。 西川 直毅
バレー部に入つてあけてく
ださい。 西岡 恭弘
人生の最大の動機は「言欲」
である。 苗田 岳史
勇気こそ地の塩なれや梅真
白 奥野 淳也
無事卒業できました。 大林 仙一
長いようで短い6年間でし
た。 大坂 雅史
もう朝早く起きなくていい
。 高田 佳秀
俺のこの手が真っ赤に萌え
る! 鉄谷 尚大
もう野球はホンマにいいで
す。 徳島 由樹



何事も妥協と後悔はしない
ように。 辻 悠佑
←36、お前を倒せと轟き
叫ぶ! 辻 航一
早く合格して人間的な生活
に戻りたい 渡邊 泰弘
結果はともかく全力を尽く
そうと思う。 山本 浩基
ハーバード大学に受かりま
すように。 山本 慎太郎
なおしなおしやりなおし。
大学こそはまじめに通おう
と思つ。 湯川 春希

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

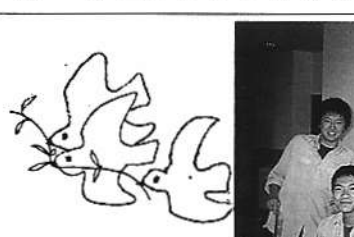
クラブと勉強とでしてりや
いんや! 西谷 悠
よく学び、悩み、己を高め
たい。 沼 幸作
洛星はランチャーで俺は弾
なんだな。 大塚 琢馬
十七字に収まる最大の愛を
あなたに。 里田 旭彦
人におどされず、信念を
貫くことだ。 沢田 雅人
あと三十二日で大学生!
部活、勉強など、がんばつ
てください。 田淵 弘明
A判定が一つもなかつた
。 高木 悠樹
何だかんだ言っても良かつ
た洛星高校。 高橋 駿介
ボク、勉強しすぎちゃった
よ... 田部 典生
考え得る最高を常に! 田中 泰吉
すえたかとうむ。 寺崎 智志

大言壮語も実現すれば有言
実行 富岡 潤
普段は楽しく、やる時はや
る。 津田 昌郎
目指すは京大のアレキシ
ライボ! 津田 智博
ボムの店員さんに愛をこめ
て♡ 辻井 秀
6年間ありがとうございま
した。 渡辺 賢彦
勉強より趣味優先、これ重
要。 渡邊 裕記
三年間で失った物、信用、
友情、毛。 山根 一毅

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗



授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗



授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

授つた力に見合う義務を果
ししよう。 葛西信太郎
あんなにサボつても卒業で
きたな。 柏原 優澄
西山ソフト部は最悪でした
。 河村 俊邦
今頃後悔しても手遅れです
から残念! 川崎 弘樹
北風に吹かれて空を飛べ。
高IIまではたいして勉強し
なくてよい 小林 昇平
北海道に行きたかったなあ。
マサシ... 久米井雅彦
年末文藝最強伝説近きマス
。 楠木 崇裕
高校生活は短かった。 南 泰基
格好つける前にモラルを守
りましょう 中澤 拓己
冷静になれば、道は開けま
す。 西島 豪宏
弓道部とタブローのみんな
に有難う。 西村 昌朗

寺井 治夫



四十八期の諸君の卒業に際し、私はしきりと「卒業とは（業を卒ふ）ことなのだ」と思った。

自分の思い出せる「卒業」は、高校と大学でのもので共通するのは、「何か大事なものをすませていないなあ、まだ卒業してはいけないのではないかなあ」という思いだった。

高校時代は生真面目に勉強したし、クラブも三年の秋まで結構夢中になった。悔いなく過ごしたといいた人が、同じ文学部志望の友人と比べると、自分の内に何を蓄えたのだからかと自分分を疑った。当時「朝日ジャーナル」という雑誌が始められた頃で、友人はもうそれを読んでいた。音楽でも読書でもずつと大人の世界にい

ⅢC 原 良仁



四十八期生の人達と関わりを持ち出して、あつという間に一年が過ぎました。昨年四月、担任としての仕事を始める直前までは、授業、課外活動を含め、あらゆる場面において全く承知をしていなかった生徒達との短いお付き合いだっただけですが、特にCクラスの四十数名の人達とはそれなりに話をする過程で各々の個性もよく見えるようになり私にとっては大変中味の濃い一年であつたと実感しております。

たのだ。青年期でなければ
という体験がいくつもあつ
たけれど、とても「業を卒
えた」とはいえないなど、
寂しく思った。

大学の卒業式は三月二十三日。その日は就職する高校（つまり洛星）に呼ばれていて、四月から担任する高一の編入生のガイダンスのために顔を出すことになっていた。午後一時に二回り

ほとんどの先生が大学の正門に車で迎えに来てくれた。「卒業」は次なる社会への出発であり、無理にでも先に押し出される門であることを、地で行つたようなものである。

その後私は卒業はない。生徒に試験をし、卒業させることはあっても、自分が試験を受けて卒業することはなかった。複数年担任したのが八年であって、高三を担当したのは五回、四十八期は私にとって最後の「卒業生」である。不思議

III B 子安 克実



48期生の皆さん、ご卒業おめでとございます。今、私は、これから羽ばたいていける諸君の姿を思い浮

かべながら過す喜びと、毎朝朝礼でH R教室に上がるのこない、少しの寂しさを感じながら、日々を過しています。

中学からの諸君とは、奇しくも、私が非常勤講師として洛星に通い始めた年と入学年度が同じで、母校に「期」などという言い方のない私にとつては、そういう呼び方を少し羨ましくも思い、私も諸君と同じ「洛星の48期」という気持ちで、専任教諭に就いた後も2年間担任として卒業まで一緒に過すことを、

本当に嬉しく思っています。兎に角、私自身、右も左も分からないまま、ただひたすらに走り続けた怒濤の2年間で、34年間で、最も走り回った2年間であつたように思います。色々と至らないところもあったかと思いますが、そんな私を温かく受け入れてくれて、辛抱してくれた諸君に感謝

三
E
森
知
広



中学生のときに、東北
大学西澤教授、静電誘導型
トランジスターを発明」と
いう記事に出くわしました
当時の私は、ラジオの動作
原理に興味を持ち始め、半
田こて片手に電気回路工作

をしていましたので、この記事に出くわしたには、なかなかよくわからないけど、ごそうな発明なんだと注目しました。高校生になつて、「京大福井教授、日本人初のノーベル化学賞に輝く」との知らせを聞きました。フロンティア軌道理論というのですが、これも当時の私にはよくわかりませんでした。ただ、化学は暗記ではなくて、理論・数学的手法により予測したり物質を設計する分野になつたことを、かの西澤教授が書

ⅢD 手塚 俊之



48期のみなさんへ卒業おめでとう。中3から4年間、の担当でした。うまく行つたこと、うまく行かなかつたこと、いろいろあります。たが、自分としては頑張つたつもりです。4年間の思い出の中で、最も印象深いのは高2の時の体育祭です。正直を言うと、それまでの行事での48期生の様子から

いておられたのを本で読み、電子工学志望だったのが、化学もまんざらではないなと思うようになりました。また、受験前に偶然入手した学部案内の冊子の中に、化学系なのに「太陽電池」や「半導体」などの、およそ化学らしくない(?)の学術用語が目にとまりました。それに加えて、当時は化学系の学科が最も入りやすかったことがありました。そして、化学系を選ぶことにしました。

大学では化学も色々と分かれてきて、どの分野を履修するのにも苦労した思い出しかないのですが、当時の私にとって特に大変だったのが物理化学や量子化学という学問分野でした。それでも、これは化学におけるリクツのところなんだからと自分に言い聞かせながら繰り返してテキストを読み続けているうちに、おぼろげながらも見通しが得られるようになりました。研

おわかれのメッセージ

以下の記事は大雪で中止になった合同朝礼で行う予定だった、四十八期生と中学生の別れの言葉です。

.....

2004年度生に贈る言葉
中学生徒会長 新美彰平
皆さんおはようございます。この度は卒業おめでとうございます。洛星中学入学以来の6年間、あるいは高校入学以来の3年間は長い時間がかかりました。学園生活を過ごし頑張ってきたと思います。そして、皆さんの静かに見守ってやって下さいます。またまだ僕達には必要です。これからもよろしくお願いします。

おわかれのメッセージ

たか短かつたか、あるいは寒く多きものであつたかどうかつたか。それぞれに今、考えをお持ちちだと思ひます。しかし、自分自身、この学校で3年間過ごして、寒い中遠路

HIII A 宮本 征
六年間を振り返つて、僕は僕の学校生活はめつちや充実してたぞーと胸を張つて言うことが出来ます。それは、僕には友人たちと大きな事をした（具体的に高IIの文化祭ですが）という、強烈で色あせない、誇れる思い出があるからです。百点満点の学校生活なんて存在しない訳だし、やりたいいことの中で果たせずに終わってしまったことがあり、それを後悔する気持ちにな

はるばる通学したり、クラブ活動と勉學を兩立させたりする事がいかに大変か痛感しております。ですから、それをやりました皆さんは、本心にすこしと思ひます。心より尊敬致します。ご苦労様でした。これからもそれぞれの目指す分野で、この

で、自分の中学生以来の関心事項がここにきて目出度く(う)つながつたのでした。その後、偶然から学校で教えることになりましたが、以上のような経験により、量子力学や量子化学に對する思入れはそれなりに強かつた訳です。(しかし、まだまだ勉強不足でありました。)このような私と3年間(担任としては2年間)辛抱してお付き合いいただきましたどうもありがたうございました。成人になったら、一緒に飲みにきましよう。

るのは避けられないことです。しかし、最悪なのは「何もなかったなあ」と後悔することです。僕が皆さんに伝えられる言葉があるなら、そういう最悪の後悔をしなくてすむように、この学校で何かをやったという思い出を作ってください。ということですが、そうすれば、何かをできなかったことへの後悔も帳消しになって、卒業する時、「充実していたなあ」と思えるはずです。流星という学校が、そういう思い出を作る上でふさわしい学校であります。続けることを祈っています。



